

生涯

苔むした水の枯れた井戸に
スズのカップが置いてあったことを
知っているのは記憶の中だけ
なりやんだ　その後
のこる音を
あの人は何回か聞いただろう
それは胸の内で鳴っていた
よく言い返したので
その時はさみしい音がしたろうな
と、考えてたら
ふと笑顔がうかんだ
淋しい音の上に
小さく楽しいよい音が鳴ったかな

N
・
U